

訳17 駿河（するが）なる

駿河にある

宇津（うつ）の山辺（やまべ）の

宇津の山に来て、

うつつにも

「うつつ」（現実）でも

夢にも人に

夢でもあなたに

あわぬなりけり

会えなくなってしまった。

問一 「うつつ」という言葉の印象

を強めるために、その前に置

かれているフレーズ（「駿河

なる宇津の山辺の」）を何と

呼ぶか。

ア枕詞（まくらことば）。ある言葉

の前に置くことが伝統的に決まっ

ていた言葉（例「奈良」の前に置

く枕詞は「あおによし」）。原則

五音。

イ序詞（じよことば）。あとに来る

言葉の印象を強めるために置かれ

るフレーズ。どういうフレーズに

するかは自由。原則七音以上。

駿河（するが）なる

駿河にある

宇津（うつ）の山辺（やまべ）の

宇津の山に来て、

うつつにも

「うつつ」（現実）でも

夢にも人に

夢でもあなたに

あわぬなりけり

会えなくなってしまった。

問二 「夢でもあなたに会えなく

なってしまった」とあるが、

当時はこれはどう解釈したか。

ア男の、「あなた」に対する思いが

薄れてしまった。

イ「あなた」の、男に対する思いが
薄れてしまった。

ここは空白ページです